

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達協定対象外）に付します。

契約担当官
陸上自衛隊施設学校
会計課長 綾戸 常 貴

1 工事概要

- (1) 工 事 名：警備システム電源設置工事
- (2) 工事場所：茨城県ひたちなか市勝倉3433 陸上自衛隊勝田駐屯地
- (3) 工事内容：本工事は、以下の工事を行うものである。
電源設置工事
- (4) 工 期：令和7年12月26日まで
- (5) 本工事は、工事費内訳明細書の提出を義務付ける工事である。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち、「建築一式工事」又は「電気工事」で級別の格付を受け、北関東防衛局に競争参加を希望していること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）。
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 防衛省競争参加資格の「建築一式工事」でD等級以上又は「電気工事」（資格審査結果通知書の記3の等級）がC等級以上であること。

- (5) 平成21年度以降入札公告日までに、元請けとして完成・引渡しを完了した工事のうち、同種の工事を施工した実績を有すること（建設共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上のものに限る。）。なお、当該実績が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（契約担当官等が属する防衛省本省の内部部局、防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部、防衛監察本部、地方防衛局並びに統合幕僚長及び陸上幕僚長、海上幕僚長又は航空幕僚長の監督を受ける陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊及び機関並びに防衛装備庁をいう。以下同じ。）（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。また、実績が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除くこと。
- (6) (5)の施工実績が防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事（平成13年12月25日以降に完成した工事で65点以上。）の者又は提出する工程表の工程管理に対する技術的所見が適切である者
- (7) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に配置できること。なお、建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条第1項に該当する場合は、管理技術者等は専任でなければならない。
- ア 平成21年度以降入札公告日までに、(5)に掲げる工事の経験を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）こと。なお、当該経験が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、経験が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。
- イ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
- (8) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時点までの期間に、北関東防衛局長から、「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について」（防整施（事）第150号（28. 3. 31）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (9) 施設学校総務部会計課が発注した「建築一式工事」又は「電気工事」のうち、令和4年度以降令和6年度までに完成・引渡しを完了した工事の施工実績がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (10) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受注者（受注者が共同体である場合においては、当該共同体の各構成員をいう。以下同じ。）又は当該受注者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (11) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係又はそれらと同視する関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）。
- (12) 関東・甲信越地域に当該同種工事業の許可に基づく本店、支店又は営業所が所在すること。

- (13) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。
- (14) 情報保全に係る履行体制について、適切な体制を有すると確認できる者

3 入札手続等

(1) 担当部局

〒312-8509 茨城県ひたちなか市勝倉3433

陸上自衛隊施設学校総務部会計課 契約班

担当：森（もり）

TEL 029-274-3211 内線271

FAX 029-271-3130 直通

(2) 入札説明書の交付期間等

ア 交付期間

令和7年7月16日から令和7年8月5日まで（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日（以下「行政機関の休日」という。）を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時00分まで（正午から午後1時までの間を除く。）

イ 交付場所

(1)の担当部局において交付を行う。

(3) 一般競争参加資格確認申請書及び資料の提出期限等

ア 提出期限：令和7年8月5日（火）午後5時00分

イ 提出方法：(1)の担当部局に持参又は郵送（書留郵便に限る。）若しくは託送（書留郵便と同等のものに限る。）（以下「郵送等」という。）する。

(4) 入札書の提出期限等

ア 提出期限：令和7年8月27日（水）午後5時00分

イ 提出方法(1)の担当部局に持参又は郵送等する。

(5) 開札の日時、場所及び再度入札の日時

ア 日 時：令和7年8月28日（木）午前11時00分

イ 場 所：陸上自衛隊施設学校総務部会計課 入札室

ウ 再度入札日時：令和7年9月2日（火）午後13時15分

なお、場所についてはイ項と同じ場所で開札する。

4 その他

- (1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金：免除
- (3) 契約保証金：免除。ただし、落札者は、公共工事履行保証証券による保証（引き渡した工事目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）である場合において当該契約不適合を保証する特約（2年間）を付したものに限る。）を付するものとする。この場合の保証金額は請負代金の10分の3以上とする。
- (4) 入札の無効
次に掲げる入札は無効とする。

- ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
- イ 申請書又は資料に虚偽の記載をした者の入札
- ウ 入札に関する条件に違反した入札

(5) 落札者の決定方法

予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあり著しく不適當であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者としてすることがある。

(6) 配置予定監理技術者等の確認

落札者決定後、発注者支援データベース・システム等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは配置予定の監理技術者等の変更を認めない。

(7) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準（以下「調査価格基準」という。）を下回っている場合は、予決令第86条の調査（以下「低入札価格調査」という。）を行うので協力しなければならない。

(8) 専任の監理技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある。

(9) 入札後契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。

(10) 低入札価格調査を受けた者との契約については、前金払の割合を請負代金額の10分の2以内とする。

(11) 契約書作成の要否

(12) 関連情報を入手するための照会窓口
上記3(1)に同じ。

(13) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記3(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時点において当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(14) 詳細は、入札説明書による。

入札説明書

陸上自衛隊施設学校会計課の警備システム電源設置工事に係る入札公告（電気工事）に基づく入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 入札公告日 令和7年7月16日

2 契約担当官等

契約担当官 陸上自衛隊施設学校 会計課長 綾戸 常貴
〒312-8509 茨城県ひたちなか市勝倉3433

3 工事概要

(1) 工事名

警備システム電源設置工事

(2) 工事場所

茨城県ひたちなか市勝倉3433 陸上自衛隊勝田駐屯地

(3) 工事内容及び工事範囲

別冊図面及び仕様書のとおり。

(4) 工 期

令和7年12月26日まで

(5) 使用する主要な資機材

仕様書のとおり。

(6) その他

ア 本工事は、工事費内訳明細書の提出を義務付ける工事である。

イ 本工事は、数量公開の対象工事であり、設計数量を参考数量として公開することとしており、手続きの詳細は、別添「数量公開の説明書」を参照するものとする。

4 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

(2) 防衛省における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち「建築一式工事」又は「電気工事」に係る等級で級別の格付を受け、北関東防衛局に競争参加を希望していること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）

- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 防衛省競争参加資格の「建築一式工事」でD等級以上又は「電気工事」に係る等級（資格審査結果通知書の記3の等級）がC等級以上であること。
- (5) 平成21年度以降入札公告日までに、元請けとして完成・引渡しが完了した工事のうち、同種の工事を施工した実績を有すること（建設共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上のものに限る。）。

なお、当該実績が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（契約担当官等が属する防衛省本省の内部部局、防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部、防衛監察本部、地方防衛局並びに統合幕僚長及び陸上幕僚長、海上幕僚長又は航空幕僚長の監督を受ける陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の部隊及び機関並びに防衛装備庁をいう。以下同じ。）（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、防衛施設庁において実施する建設工事の請負業者の施工成績評定要領について（施本建第220号（CCP）。13.12.19）に基づく施工成績評定通知書（以下「施工成績評定通知書」という。）並びに工事成績評定要領について（施本建第134号（CCP）。19.7.30）、工事成績評定要領について（経施第4404号。21.3.31）、工事成績評定要領について（防整技第15542号。27.10.1）又は工事成績評定要領について（防整技第7160号。28.3.31）に基づく工事成績評定通知書（以下「工事成績評定通知書」という。）の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除くこと。

また、実績が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除くこと。

- (6) (5)の施工実績が防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事（平成13年12月25日以降に完成した工事で評定点合計が65点以上。）の者又は提出する工程表の工程管理に対する技術的所見が適切である者（個別の工事に応じて、工種別に明示すること。）
- (7) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に配置できること。なお、建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条第1項に該当する場合は、管理技術者等は専任でなければならない。
- ア 平成21年度以降入札公告日までに、(5)に掲げる工事の経験を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）こと。なお、当該経験が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、経験が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。
- イ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
- ウ 配置予定の監理技術者等にあつては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。

- (8) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、北関東防衛局長から、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号。28.3.31）（以下「指名停止措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (9) 施設学校総務部会計課が発注した「建築一式工事」又は「電気工事」のうち、令和4年度以降令和6年度までに完成・引渡しが完了した工事の施工実績がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (10) 入札に参加しようとする者の間に次の基準のいずれかに該当する関係がないこと（基準に該当する者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。以下同じ。）。

なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、入札心得書第6条第2項の規定に抵触するものでない。

ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。

- (ア) 子会社等（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号の2の規定による子会社等をいう。以下同じ。）と親会社等（同条第4号の2に規定する親会社等をいう。以下同じ。）の関係にある場合
- (イ) 親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社等（会社法施行規則（平成18年法務省令第12号）の第2条第3項第2号に規定する会社等をいう。以下同じ。）の一方が民事再生法（平成11年法律第225条）第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社等又は更生会社（会社更生法（平成14年法律第154号）第2条第7号に規定する更生会社をいう。）である場合は除く。

- (ア) 一方の会社等の役員（会社法施行規則第2条第3項第3号）に規定する役員のうち、次に掲げる者をいう。以下同じ。）が、他方の会社等の役員を現に兼ねている場合
- a 株式会社の取締役。ただし、次に掲げる者を除く。
- (a) 会社法第2条第11号の2に規定する監査等委員会設置会社における監査等委員である取締役
- (b) 会社法第2条第12号に規定する指名委員会等設置会社における取締役
- (c) 会社法第2条第15号に規定する社外取締役
- (d) 会社法第348条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている取締役
- b 会社法第402条に規定する指名委員会等設置会社の取締役
- c 会社法第575条第1項に規定する持分会社（合名会社、合資会社又は合同会社をいう。）の社員（同法第590条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている社員を除く。）
- d 組合（共同企業体を含む。）の理事
- e その他業務を執行する者であって、aからdまでに掲げる者に準ずる者
- (イ) 一方の会社等の役員が、他方の会社等の民事再生法第64条第2項又は会社更生法第67条第1項の規定により選任された管財人（以下管財人という。）を現

に兼ねている場合

ウ その他の入札の適正さが阻害されると認められる場合

- (11) 関東・甲信越地域に建設業法の許可（当該工事に対応する建設業種）に基づく本店、支店及び営業所が所在すること。
- (12) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。
- (13) 情報保全に係る履行体制について、適切な体制を有すると確認できる者

5 担当部局

〒312-8509 茨城県ひたちなか市勝倉3433

陸上自衛隊施設学校総務部会計課

担当 森（もり）

TEL 029-274-3211（内線271）

FAX 029-271-3130（直通）

6 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争の参加希望者は、上記4に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に従い、申請書及び資料（以下「申請書等」という。）を提出し、契約担当官等から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

また、4(2)の格付を受けていない者も次に従い申請書等を提出することができる。この場合において、4(1)及び(5)から(13)までに掲げる事項を満たしているときは、開札の時ににおいて4(2)から(4)に掲げる事項を満たしていることを条件として競争参加資格があることを確認するものとする。

当該確認を受けた者が競争に参加するためには、開札の時点において上記4(2)から(4)に掲げる事項を満たしていなければならない。

なお、期限までに申請書等を提出しない者及び競争参加資格がないと認められた者は、本競争に参加することができない。

申請書等の提出は、次に示すとおりとする。

ア 提出期間

令和7年7月16日（水）から令和7年8月5日（火）まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時00分まで。（正午から午後1時までの間を除く。）

イ 提出方法

持参又は郵送等で提出すること。

ウ 提出場所

上記5に同じ。

- (2) 申請書は、別紙第1により作成すること。

(3) 資料は、次に従い作成する。

なお、アの実績及びイの経験については、平成21年度以降入札公告日までに工事が完成し、引き渡しを済ませているものに限り記載することとし、「同種の工事の施工実績（別紙第2）」に記載する工事及び「配置予定の技術者（別紙第3）」に記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書の写しを添付する。

ア 同種の工事の施工実績

上記4(5)に掲げる資格があることを判断できる同種の工事の施工実績を、別紙第2に記載すること。記載する同種の工事の施工実績の件数は1件でよい。

イ 配置予定の技術者

上記4(7)に掲げる資格があることを判断できる配置予定の技術者の資格、同種の工事の経験及び申請時における他工事の従事状況等を、別紙第3に記載すること。記載する同種の工事の経験の件数は1件でよい。

なお、配置予定の技術者として複数の候補技術者の資格及び同種の工事の経験を記載することもできる。また、同一の技術者を重複して複数工事の配置予定の技術者とする事は差し支えないものとするが、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができなくなったときは、入札への参加はできないものとし、申請書を提出した者は、直ちに当該申請書の取下げを行うこと。また、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができないにもかかわらず入札した場合においては、不正又は不誠実な行為として、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。

入札書の提出後、落札者決定までの期間（予決令第86条の調査（以下「低入札価格調査」という。）期間を含む。）において、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができなくなった場合は、直ちにその旨の申出を行うこと。この場合において、その事実が認められた場合には、当該入札を無効とする。

落札後、配置予定の技術者が配置できないことが明らかになった場合は、不正又は不誠実な行為として、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。

ウ 工程表

アの実績が防衛省の発注した工事以外の者又は平成13年12月25日以前に完成した旧防衛施設局等の施工実績を有する者については、工程管理が適切であることを判断できる工程管理の技術的事項に対する所見を別紙第4に記載すること。

エ 契約書の写し等

施工実績又は経験として記載した工事に係る契約書の写し又は当該同種工事を証明する資料を提出すること。ただし、当該工事が、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報サービス（CORINS）」に登録されている場合は、その写し（詳細を含む。）を添付するものとし、契約書の写しを提出する必要はない。

(4) 情報保全に係る履行体制についての確認

平成30年4月1日から公告日までの間に、防衛省発注機関が発注した工事を完成（完了）した実績を有している者は別紙第5「誓約書」を提出し、有していない者は別紙第6「誓約書」を提出すること。

(5) 競争参加資格の確認は、申請書等の提出期限日をもって行うものとし、申請時に提出された返信用封筒により、令和7年8月6日（水）までに通知する。

(6) その他

ア 申請書等の作成及び提出に係る費用は、申請者の負担とする。

イ 契約担当官等は、提出された申請書等を競争参加資格の確認以外に申請者に無断で使用しない。

ウ 提出された申請書等は、返却しない。

エ 提出期限以降における申請書等の差し替え及び再提出は認めない。

オ 申請書等に関する問い合わせ先 上記5に同じ。

カ 同等品申請に対する受付期限は7月29日（火）までとし、8月1日（金）までに回答する。

7 競争参加資格がないと認めた者に対する理由の説明

(1) 競争参加資格がないと認められた者は、契約担当官等に対して競争参加資格がないと認めた理由について、次に従い説明を求めることができる。

ア 提出方法

書面（様式は自由とする。）を上記5に持参するものとし、郵送等によるものは受け付けない。

イ 提出期間

上記6(5)の通知の日から令和7年8月7日まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時00分まで（正午から午後1時までの間を除く。）。

(2) 契約担当官等は、(1)により説明を求められたときは、令和7年8月20日までに説明を求めた者に対し、書面により回答する。

8 入札説明書に対する質問

(1) 入札説明書に対して質問がある場合には、次に従い提出する。

ア 提出方法

書面（様式は自由とする。）を上記5に持参又は郵送等により提出する。

イ 提出期間

令和7年7月17日から令和7年8月19日まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時00分まで（正午から午後1時までの間を除く。）。郵送等による場合もこれと同様とする。

(1)の質問に対する回答書は、令和7年7月17日から令和7年8月27日まで（行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時00分まで（正午から午後1時までの間を除く。）上記5において閲覧に供する。

9 入札方法等

(1) 入札書の提出方法等

ア 提出期間

令和7年8月27日（水）午後5時00分まで

イ 提出場所

上記5に同じ。

ウ 提出方法

入札書及び工事費内訳明細書を各々封筒に入れて封かんし、入札書を入れた封筒の表に入札件名、開札日時及び商号又は名称を表記し、「入札書在中」と朱書きする。さらにこれらを1つの封筒に入れて封かんし、封筒の表に入札件名、開札日時及び商号又は名称を記載の上、持参又は郵送等により提出する。また、一般競争参加資格確認通知書又はその写しを提示又は同封する。

また、郵送等により提出する場合は、提出期限までに到達するように発送し、発送後速やかに担当部局に電話連絡する。

なお、入札書及び工事費内訳明細書が提出期限までに持参又は到達しない場合には、当該入札者は入札を辞退したものとみなす。

- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載する。
- (3) 入札回数は、原則として2回を限度とする。再度入札の日は、第12項第1号ウに記載する日時とする。ただし、2回目の入札において落札者がいない場合は、3回目の入札を執行する場合もある。なお、予決令第99条の2の規定による随意契約は、特別な場合を除き適用しない。

10 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金 免除

- (2) 契約保証金 免除。ただし、落札者は、公共工事履行保証証券による保証（引き渡した工事目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）である場合において当該契約不適合を保証する特約（2年間）を付したものに限る。）を付するものとする。この場合の保証金額は請負代金の10分の3以上とする。

11 工事費内訳明細書の提出

- (1) 第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳明細書を提出しなければならない。
- (2) 工事費内訳明細書の作成方法
 - ア 交付した数量書にある総括表の構成に対応した経費項目（直接工事費、共通仮設費、現場経費、一般管理費等）を記載することとする。また、直接工事費の明細書については、交付した数量書に対応する摘要（土木工事にあつては規格・寸法）、数量、単位、単価、金額等を記載したものとする。

イ 交付する数量書記載の数量については参考数量であることから変更してもよいものとする。

ウ 工事費内訳明細書には、必ず表紙を付けるものとし、表紙には商号又は名称、住所及び代表者氏名（紙入札方式による場合は、必ず押印する。）並びに発注者名及び工事名を記載し、表紙以外には商号又は名称、住所及び代表者氏名を記載しない。

(3) 工事費内訳明細書の提出方法等

ア 提出期間

上記 9 (1) アに同じ。

イ 提出場所

上記 9 (1) イに同じ。

ウ 提出方法

上記 9 (1) ウを参照。

(4) 提出された工事費内訳明細書は返却しないものとする。

(5) 工事費内訳明細書を提出しない者は、入札に参加することができない。

(6) 提出された工事費内訳明細書の確認の結果、別表の各項に該当する場合は、入札心得書に規定する「その他入札に関する条件に違反した入札」として、当該入札参加者の入札を無効とする場合がある。

(7) 提出された工事費内訳明細書について説明を求める場合がある。

(8) 提出された工事費内訳明細書については、必要に応じ公正取引委員会へ提出する場合がある。

この場合、指名停止措置要領に基づき、指名停止措置を行うことがある。

(9) 工事費内訳明細書は、参考図書として提出を求めるものであり、契約上の権利義務を生じるものではない。

12 開 札

(1) 開札の日時及び場所

ア 開札日時 令和 7 年 8 月 28 日（木）午前 11 時 00 分

イ 開札場所 陸上自衛隊施設学校総務部会計課 入札室

ウ 再度入札日時：令和 7 年 9 月 2 日（火）午後 13 時 15 分

なお、場所についてはイ項と同じ場所で開札する。

(2) 開札は、(1)に掲げる日時及び場所において、入札者又はその代理人を立ち会わせて行う。ただし、郵便等などの入札者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち会わせて行う。

(3) 開札に立ち会わない場合でも、その者から提出された入札書は有効なものとして取り扱う。

(4) (3)の場合において、再度の入札を行うこととなったときは、再度の入札への参加の意思の有無を電話により確認するものとする。

(5) 情報保全に係る履行体制の最終確認

入札の結果、落札予定者となった者に対し、情報保全に係る履行体制についての確認のため、別紙第7から別紙第10までの資料を求めることがある。提出期間は、資料提出要請の日からおおむね3営業日程度とするので、事前に準備しておくこと。提出された資料では情報保全に係る履行体制について適切な体制を有すると確認できない者に対しては、追加資料を求めたりヒアリングを行うこともある。提出期限内に資料提供できない者、追加資料の提出やヒアリングを拒否した者及び当該追加資料等によっても情報保全に係る履行体制について、適切な体制を有すると確認できない者については、競争参加資格を取り消し、その者の入札を無効とすることがある。

13 入札の無効

(1) 次に掲げる入札は無効とする。

ア 本公告において示した競争参加資格のない者のした入札

イ 申請書等に虚偽の記載をした者の入札

ウ 現場説明書及び入札心得書において示した条件等入札に関する条件に違反した入札

なお、契約担当官等により競争参加資格のある旨確認された者であっても、落札決定の時点において上記4に掲げる資格のないものは競争参加資格のない者に該当する。

(2) (1)の無効の入札を行った者を落札者としていた場合には、落札決定を取り消す。

14 落札者の決定方法

(1) 予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

(2) (1)の場合において、落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、くじへ移行する。くじの実施方法等については、発注者から指示をする。

(3) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準（以下「調査基準価格」という。）を下回る場合は、低入札価格調査を行うので、調査に協力しなければならない。

15 配置予定監理技術者等の確認

落札者決定後、発注者支援データベース・システム等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、病休・死亡・退職等極めて特別な場合でやむを得ないとして承認された場合の外は、配置予定技術者の変更を認めない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置技術者を変更する場合は、4(7)に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上の者を配置しなければならない。

16 契約書作成の可否等

別冊契約書案により、契約書を作成するものとする。

17 支払条件

前払金等

請負代金額が300万円以上の場合は、前金払いを利用することができる。利用可能額の上限は請負代金額の10分の4以内とする。

18 火災保険付保の可否

要

19 再苦情申立て

契約担当官等からの競争参加資格がないと認めた理由の説明に不服がある者は7(2)の回答を受けた日の翌日から起算して7日以内に、書面により、契約担当官等に対して、再苦情の申立てを行うことができる。当該再苦情申立てについては、入札監視委員会が審議を行う。

(1) 提出期間

令和7年8月25日（行政機関の休日を除く。）の午前8時15分から午後5時00分までに行うこと。

(2) 提出場所及び再苦情申立てに関する手続等を示した書類等の入手先は、上記5に同じ。

20 関連情報を入手するための照会窓口

上記5に同じ。

21 その他

(1) 入札・契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札参加者は、入札心得書及び契約書案を熟読し、入札心得書を遵守する。

(3) 申請書等に虚偽の記載をした場合は、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。

(4) 落札者は6(1)の資料に記載した配置予定の技術者を、当該工事の現場に配置する。

工事費内訳明細書の無効について

1 未提出であると認められる場合	(1)	工事費内訳書が白紙である場合
	(2)	工事費内訳明細書に表紙が付いていない場合
2 記載すべき事項が欠けている場合	(1)	数量、単価、金額等の記載が欠けている場合
3 記載すべき事項に誤りがある場合	(1)	発注案件名に誤りがある場合
	(2)	提出業者名に誤りがある場合
	(3)	工事費内訳明細書の合計金額が入札金額と大幅に異なる場合
4 その他	(1)	他の入札参加者の工事費内訳明細書と類似し、合理性がなく、極めて不自然な場合

令和 年 月 日

契約担当官
陸上自衛隊施設学校
会計課長 村川 穰二 殿

住 所
商号又は名称
代表者役職・氏名
担当者名
電話番号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

工事費内訳明細書

工事名: _____

工事等	金額 (円)
	A
	a
	b
	c
	d
直接工事費	A (a+b+c+d)
共通仮設費計	B
現場管理費	C
一般管理費等	D
工事価格	A+B+C+D

競争参加資格確認申請書作成要領

警備システム電源設置工事に係る一般競争入札に参加を希望する者は、この作成要領に基づき別紙第1「一般競争参加資格確認申請書」、別紙第2「同種の工事の施工実績」、別紙第3「配置予定の技術者」を作成の上、各1部提出して下さい。また、「同種の施工実績」が工事成績評定対象工事以外のものについては、別紙第4「工程表」を作成の上、工程管理に対する技術的所見を記載し、1部提出して下さい。

なお、これらの資料は、競争参加資格を確認するための基礎資料として提出していただくものです。

記

1 一般競争参加資格確認申請書

- (1) 住所、商号又は名称及び代表者名等を記載するとともに、代表者印等を必ず押印の上申請して下さい。
- (2) 返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、申請書と併せて提出して下さい。

2 同種の工事の施工実績

貴社が元請（共同企業体による施工は、出資比率が20%以上とする。）として施工実績のある同種の工事について記載して下さい。

- (1) 同種の工事とは次の事項を全て満足するものをいいます。
「建築一式工事」又は「電気工事」のいずれかとします。
- (2) 記載する工事は、平成13年度以降に完成した工事の中から、代表的なものを1件記載して下さい。なお、同種工事との判断が難しい場合は3件程度まで記載されても可とします。
- (3) 「工事場所」は、都道府県名、市町村名を記載して下さい。
- (4) 「契約金額」は、百万円単位で記載して下さい。
- (5) 「工期」は、契約書に基づき記載して下さい。
- (6) 「受注形態等」は、単体若しくは共同企業体の別を記載し、共同企業体の場合は、当該企業体の名称と出資比率を記載して下さい。
- (7) 「工事概要」は、構造形式、規模・寸法、使用機材・数量、施工条件についてそれぞれ簡潔に記載して下さい。
- (8) 「CORINS 登録の有無」は、当該工事が、CORINS に登録されている場合は「有」に○を付し、登録番号を記載して下さい。

3 配置予定の技術者

貴社が本工事を請け負うこととした場合、実際に配置可能な主任技術者又は監理技術者を記載して下さい。

- (1) 予定者として複数の候補技術者を記載しても結構です。また、同一の技術者を重複して複数工事の配置予定の技術者とする事は差し支えないものとするが、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができなくなったときは、入札してはならず、申請書を提出した者は、直ちに当該申請書の取下げを行って下さい。

他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができないにもかかわらず入札した場合においては、不正又は不誠実な行為として、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号。28.3.31）（以下「指名停止措置要領」という。）に基づく指名停止を行うことがあります。

入札後、落札者決定までの期間（予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。）第86条の調査期間を含む。）において、他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置できなくなった場合は、直ちにその旨の申し出を行って下さい。この場合において、事実が認められた場合には、当該入札を無効とします。

落札後、配置予定の技術者が配置できないことが明らかになった場合は不正又は不誠実な行為として指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがあります。

- (2) 「最終学歴」は、学校名、学科名及び卒業年次等を記載して下さい。
- (3) 「法令による資格・免許」は、本工事の主任技術者又は監理技術者として配置を予定されている者が取得している資格等（一級建築士等）を適宜記載して下さい。なお、その他の資格として取得したものがあれば、適宜記載して下さい。
- (4) 「工事概要」は、当該技術者が従事した同種の工事のうち、平成13年度以降に完成した工事の中から、代表的なものを記載して下さい。
- (5) 記載する工事が工事成績評価対象工事の場合は、評価通知書の写しを添付して下さい。なお、紛失等により評価通知書の写しを添付することができない場合は、書面（様式自由）により評価通知書の写しの交付を申し出て下さい。
- (6) 「工事場所」は、都道府県名、市町村名を記載して下さい。
- (7) 「契約金額」は、百万円単位で記載して下さい。
- (8) 「工期」は、契約書に基づき記載して下さい。
- (9) 「従事役職」は、当該工事に技術者として従事した役職名を記載して下さい。
- (10) 「工事内容」は、当該工事の構造形式、規模等を簡潔に記載して下さい。
- (11) 「CORINS 登録の有無」は、当該工事が、CORINSに登録されている場合は「有」に○を付し、登録番号を記載して下さい。
- (12) 「申請時における他工事の従事状況等」は、従事している全ての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記載して下さい。
- (13) 「本工事と重複する場合の対応措置」は、申請時において他工事に従事している場合は、対応措置を記載して下さい。

4 工程管理に対する技術的所見

- (1) 本工事の図面及び仕様書等に基づき可能な範囲で、工事施工に関する工程表を作成して下さい。
- (2) 工程表に記載する内容は、主要となる項目と数量及びその概略工程とします。
- (3) 作成した工程表を基に、工程管理に対する技術的所見を記載して下さい。

5 提出場所、提出方法及び提出期間

- (1) 提出場所
〒312-8509 陸上自衛隊施設学校 総務部会計課 契約班
- (2) 提出方法持参、郵送（書留郵便に限る。）又は託送（書留郵便と同等のものに限る。）するものとし、電送によるものは受け付けません。
- (3) 提出期限
令和7年8月5日（火）午後5時00分

6 競争参加資格の確認

競争参加資格の確認は、提出期限の日をもって行い、その結果は、令和7年8月6日（水）までに書面により通知します。

7 競争参加資格がないと認められた方に対する理由の説明について

- (1) 競争参加資格がないと認められその旨通知された方は、その理由について説明を求めることができます。
- (2) (1)の説明を求める場合には、令和7年8月7日（木）17時00分までに持参により提出して下さい。
書面の提出先：陸上自衛隊施設学校 総務部会計課 契約班
- (3) 説明を求められたときは、令和8年8月20日（水）までに、説明を求めた者に対して、回答書面を送付します。

8 その他

- (1) 資料の作成等に係る費用は、申請者の負担とします。
- (2) 提出された資料は、当隊において目的以外に使用することはありません。
- (3) 提出された資料は、返却いたしません。
- (4) 提出期限日以降の資料の差替え及び再提出は認めません。
- (5) 資料提出に関する問い合わせ先
陸上自衛隊施設学校 総務部会計課 契約班 担当 森（もり）
TEL 029-274-3211 内線：271

一般競争参加資格確認申請書

令和 年 月 日

契約担当官
陸上自衛隊施設学校
会計課長 村川 穰二 殿

住 所
商号又は名称
代表者役職・氏名
担当者名
電話番号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

令和 7 年 7 月 1 6 日付で入札公告のありました警備システム電源設置工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札説明書 6 (3) アに定める同種の工事の施工実績を記載した書面
- 2 入札説明書 6 (3) イに定める配置予定の技術者の資格等を記載した書面
- 3 入札説明書 6 (3) エに定める契約書の写し
(契約書の写しの提出を求める場合のみ)
- 4 入札説明書 6 (3) ウに定める工程表を記載した書面
(工程表の提出を求める場合のみ)

以 上

注 1) 返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた
所定の料金の切手を貼った長 3 号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

注 2) 4 項は提出者のみ記載してください。

同種の工事の施工実績

会社名

工事名称等	工 事 名	
	発注機関名	
	工事場所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契約金額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	受注形態	単体／J V (出資比率)
工事概要	構造形式	
	規模・寸法	
	使用機材・数量	
	施工条件	(市街地・軟弱地質等)
	その他	
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) 無

- 注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。
- 2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。
「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載するとともに写しを提出すること。
「無」に○を付した場合は契約書の写しを提出すること。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

配置予定の技術者

		会社名
項 目	主任技術者又は管理技術者	
氏 名		
最 終 学 歴	(学校名、学科名及び卒業年次を記入する。)	
法令による資格・免許	(施工管理技士、建築士等の名称及び取得年月日、監理技術者資格の取得年月日、登録番号及び登録会社並びに監理技術者講習の取得年月日及び修了証番号を記入する。)	
工事概要	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 事 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	工 事 内 容	
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) 無
申請時における他工事の従事状況等	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	本工事と重複する場合の対処処置	
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) 無

- 注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。
- 2 CORINS 登録の有無について、いずれかに○を付す。
「有」に○を付した場合は、CORINS の登録番号を記載すること。
「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

業務従事者一覧

監理技術者	氏名	防衛 太郎
	所属	〇〇建設△△支店工務部
	役職	工務主任
	学歴	〇〇中学校→〇〇高校→〇〇専門学校（〇年卒）
	職歴	××工務店→□□工業→〇〇建設（〇年入社）
	業務経験	国内土木工事に従事
	研修実績その他の経歴	特になし
	専門的知識その他の知見	土木工事全般に関する専門的知識
	資格	1級土木工事施工管理技士
	母語及び外国語能力	日本語
	国籍その他文化的背景	日本
	業績等	特になし
現場代理人	氏名	防衛 次郎
	所属	〇〇建設△△支店工務部
	役職	工務主任
	学歴	〇〇中学校→〇〇高校（〇年卒）
	職歴	〇〇建設（〇年入社）
	業務経験	国内土木工事に従事
	研修実績その他の経歴	特になし

	専門的知識その他の知見	土木工事全般に関する専門的知識
	資格	1級土木工事施工管理技士
	母語及び外国語能力	日本語
	国籍その他文化的背景	日本
	業績等	特になし
担当技術者	氏名	担当技術者は配置しない
	所属	
	役職	
	学歴	
	職歴	
	業務経験	
	研修実績その他の経歴	
	専門的知識その他の知見	
	資格	
	母語及び外国語能力	
	国籍その他文化的背景	
	業績等	

- 注： 1 不要な行は削除すること。
- 2 記載する内容が特にない項目は、「特になし」と記載すること。
- 3 内容を証明する資料は不要。自己申告で良い。

工 程 表

工事名 : _____

会社名 : _____

項目	単位	数量	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月
			10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20

■ 工程管理に対する技術的意見

誓 約 書

契約担当官

陸上自衛隊施設学校

会計課長 村川 穰二 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

弊社は、過去__年間に防衛省発注の工事（業務）を完成（完了）・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事（業務）を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

注1) 平成21年4月1日から公告日までの間に、防衛省発注機関との工事实績を有している場合に提出する。実績がない場合別紙第6を提出する。

注2) 下線部に年数を記入すること。

誓 約 書

契約担当官

陸上自衛隊施設学校

会計課長 村川 穰二 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

弊社は、本工事（業務）を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

業務従事者一覧

監理（主任・管理）技術者	氏名	
	所属	
	役職	
	学歴	（中学校以降を記載）
	職歴	
	業務経験	（特に海外での業務経験、情報保全に関する業務経験があれば積極的に記載）
	研修実績その他の経歴	（特に海外業務に関する研修、情報保全に関する研修があれば積極的に記載）
	専門的知識その他の知見	（特に海外業務に関する専門的知識、情報保全に関する専門的知識があれば積極的に記載）
	資格	（特に海外業務に関する資格、情報保全に関する資格があれば積極的に記載）
	母語及び外国語能力	
	国籍その他文化的背景	
	業績等	（特に海外業務に関する業績、情報保全に関する業績があれば積極的に記載）
現場代理人	氏名	
	所属	
	役職	
	学歴	
	職歴	
	業務経験	
	研修実績その他の経歴	

現場代理人	専門的知識その他の知見	
	資格	
	母語及び外国語能力	
	国籍その他文化的背景	
	業績等	
担当技術者	氏名	
	所属	
	役職	
	学歴	
	職歴	
	業務経験	
	研修実績その他の経歴	
	専門的知識その他の知見	
	資格	
	母語及び外国語能力	
	国籍その他文化的背景	
	業績等	

- 注： 1 不要な行は削除すること。
- 2 記載する内容が特にない項目は、「特になし」と記載すること。
- 3 内容を証明する資料は不要。自己申告で良い。

取扱い制限情報に関する社内規則

項目	内容
取扱い制限情報に関する社内規則	☐ 社内規則がある
	☐ 社内規則に類する資料がある
	☐ 社内規則及びそれに類する資料がない

- 注： 1 いずれかの「☐」に「☒」を付す。
- 2 社内規則若しくはそれに類する資料がある場合は、その写しを提出する。
- 3 社内規則及びそれに類する資料がない場合は、別に定める申出書を提出する。

〇〇建設社内規則（例）

第1条 ○○○

第2条 ○○○

第3条 ○○○

第〇条

顧客との契約により、取扱いを制限された情報については、当該契約に基づきその取扱いを認められた者以外の者はこれに接してはならず、また、地位を利用して提供を要求してはならない。

第△条

第〇条については、代表者が要求する場合にはその限りではない。

にあるような文言が含まれていれば良い

のような例外規定がある場合は認められない

申 出 書

契約担当官
陸上自衛隊施設学校
会計課長 村川 穰二 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名
電 話 番 号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

弊社は、顧客との契約に基づき取扱いを制限された情報については、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、当該契約に基づきその取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、また、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないことを申し出ます。

代表者 (氏名)
役 員 (氏名)

※履歴事項全部証明書に記載のある役員全ての氏名を記載すること。

※履歴事項全部証明書の写しを提出すること。

※上に記載した代表者及び役員から、この申出内容に関する真正性を確保できる資料を提出すること。

指導・監督・業務支援・助言・監査等を行う者一覧

親会社	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
地域統括 会社	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
ブラン ド・ライ センサー	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
フラン チャイ ザー	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
コンサル タント	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
☐ 親会社等が存在しない		

- 注： 1 不要な行は削除すること。
- 2 親会社にさらに親会社が存在する場合は、全ての親会社について記載すること。
- 3 内容を証明する資料を提出すること。HP等出来合いの資料で可。

指導・監督・業務支援・助言・監査等を行う者一覧

親会社	会社名	市ヶ谷興業
	代表者名及び国籍	市ヶ谷 進 国籍 日本
	本社所在地	東京都新宿区市ヶ谷
地域統括会社	会社名	新宿産業
	代表者名及び国籍	新宿 譲可 国籍 日本
	本社所在地	東京都新宿区西新宿
ブランド・ライセンサー	会社名	ブランド・ライセンサー、フランチャイザー、コンサルタントは存在しない
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
フランチャイザー	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
コンサルタント	会社名	
	代表者名及び国籍	
	本社所在地	
☐ 親会社等が存在しない		

- 注： 1 不要な行は削除すること。
- 2 親会社にさらに親会社が存在する場合は、全ての親会社について記載すること。
- 3 内容を証明する資料を提出すること。HP等出来合いの資料で可。

取扱い制限情報が親会社等への報告等対象でないことがわかる資料

項目	内容
取扱い制限情報に関する資料	☐ 報告、共有又はその他情報提供の対象とならないことが明記された資料がある
	☐ 上記に類する資料がある
	☐ 資料がない

- 注： 1 いずれかの「□」に「■」を付す。
- 2 資料がある場合は、その写しを提出する。
- 3 資料がない場合は、別に定める申出書を提出する。

〇〇建設における情報取扱い理念（例）

第1条 〇〇〇

第2条 〇〇〇

第3条 〇〇〇

第〇条

顧客との契約により、取扱いを制限された情報については、親会社等の指導、監督等を行う者であっても、当該契約に基づき、報告、共有又はその情報提供の対象としないこと。

第△条 第〇条については、地域統括会社が要求する場合にはその限りではない。

にあるような文言が含まれていれば良い

にような例外規定がある場合は認められない

申 出 書

契約担当官

陸上自衛隊施設学校

会計課長 村川 穰二 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

(注) 押印を省略する場合は、担当者氏名及び連絡先を記載

弊社は、顧客との契約に基づき取扱いを制限された情報については、親会社、地域統括会社、ブランド・ライセンサー、フランチャイザー、コンサルタント等の指導、監督、業務支援、助言、監査等を行う者であっても、当該契約に基づき、報告、共有又はその他情報提供の対象とならないことを申し出ます。

親会社 (商号又は名称・代表者氏名)

地域統括会社 (商号又は名称・代表者氏名)

ブランド・ライセンサー (商号又は名称・代表者氏名)

フランチャイザー (商号又は名称・代表者氏名)

コンサルタント (商号又は名称・代表者氏名)

※別紙様式第9の一覧表に示した者全ての名称等を記載すること

※上に記載した親会社、地域統括会社、ブランド・ライセンサー、フランチャイザー及びコンサルタントから、この申出内容に関する真正性を確保できる資料を提出すること。

数量公開の説明書

1 提供方法

数量書の提供は、全ての者に対し、図面等の交付と同時に行うものとする。

2 数量書に対する質問等

数量書に対する質問の提出は、原則として、入札心得書に記載された「入札説明書に対する質問」又は「図面、仕様書、現場説明書等に対する質問」の取扱いに準じて行うものとする。

質問書は、入札説明書等に対する質問書とは区別して提出するものとする。

なお、数量の差異等に係る質問は、根拠資料も併せて提出するものとする。

質問に対する回答については、入札説明書等に対する質問の回答書とは、別に回答する。

3 数量書の数量及び構成

(1) 数量の算出は、次の基準により算出している。

ア 建築工事「公共建築数量積算基準（最新版）国土交通省大臣官房庁営繕部制定」

イ 土木工事「土木工事数量調書作成の手引き（最新版）整備計画局施設技術管理官制定」

ウ 電気設備工事・機械設備工事「公共建築設備数量積算基準（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部制定」「防衛施設設備積算基準（最新版）整備計画局施設技術管理官制定」

エ 通信工事「防衛施設設備積算要領（最新版）整備計画局施設技術管理官制定」「通信工事積算要領（最新版）整備計画局施設技術管理官制定」

(2) 数量書の様式は、次の書式を参考としている。

ア 建築工事「公共建築工事内訳書標準様式（最新版）国土交通省大臣官房庁営繕部制定」

イ 電気設備工事・機械設備工事・通信工事「公共建築設備工事内訳書標準様式（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部制定」

4 数量書の取扱いについて

数量書については、次のとおり取り扱うものとし、工事費積算等の目的以外に第三者に貸与し、複写、閲覧させてはならない。またこの数量書は、開札日の入札書あるいは開札日前日の工事費内訳明細書提出時に返却するものとする。

5 数量公開

次ページの通りとする。

数量計算書

項 目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
電気設備工事				
1 配管工事				
(1) ステンレスボックス	日東興業 S016-23A	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個+1個+1個=3個 1+2+1+3=7個	7	個
(2) ステンレスボックス	日東興業 S016-34A	図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個	1	個
(3) 高圧計器箱取付金具	ｲﾝﾌﾞｰﾁ BxG	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より1個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個+1個=2個 1+1+1+2=5個	5	個
(4) 自在バンド	ｲﾝﾌﾞｰﾁ IBT-215	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より5本 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より7本 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より7本 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より7本+6本=13本 5+7+7+13=32本	32	本
(5) ステンレスバンド	ｲﾝﾌﾞｰﾁ SFT-C215	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より2本 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2本 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より2本 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より2本+2本+1本×2か所=6本 2+2+2+6=12本	12	本

数量計算書

項	目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
(6)	厚鋼電線管G28	パナソニック DWZ228K	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より6m 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より8m 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より8m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より8m+7m=15m 6+8+8+15=37m	37	m
(7)	エントランスキャップ	パナソニック DFZ1928P	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より1個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個+1個=2個 1+1+1+2=5個	5	個
(8)	ビニル被覆金属製可とう電線管	パナソニック DA230KH	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1m 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より1m 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1m+1m=2m 1+1+1+2=5m	5	m
(9)	ねじなし防水コンビネーションケーブルリング	パナソニック DFZ5528	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より1個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個+1個=2個 1+1+1+2=5個	5	個
(10)	EGカムネリク	パナソニック DA430K	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より1個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より1個+1個=2個 1+1+1+2=5個	5	個

数量計算書

項目	規格	数量計算	計算数量	単位
(11) 電線管支持用サドル	IV3-30	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より5個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より7個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より7個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より7個+6個=13個 5+7+7+13=32個	32	個
2 配線工事				
(1) 600Vビニル絶縁電線IV	IV3.5sq	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より(緑)2m 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より(緑)2m×2か所=4m 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より(緑)2m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より(緑)2m×4か所=8m 2+4+2+8=16m	16	m
(2) 600Vビニル絶縁電線IV	IV5.5sq	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より(赤・白・黒)8m×3本=24m 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より(白・黒)12m×2本=24m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より(白・黒)10m×2本=20m 24+24+20=68m	68	m
(3) 600Vビニル絶縁電線IV	IV8sq	図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より(白・黒)10m×2本=20m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より(白・黒)9m×2本=18m 20+18=38m	38	m
(4) 600V架橋ポリエチレン絶縁ビニル電線IV	CV8-2C	図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より 1.65m+1.2m+45m+1.2m+1.3m=50.35m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より ① 1.65m+1.2m+60m+1.2m+1.65m=65.7m ② 1.65m+1.2m+70m+1.2m+1.65m=75.7m ①65.7m+②75.7m=141.4m 50.35+141.4=191.75m	192	m

数量計算書

項	目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
(5)	硬質ビニル電線管VE	VE14	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より2m 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2m 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より2m 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より 2m×4か所=8m 2+2+2+8=14m	14	m
(6)	ボルトコネクタ	東京富士商会 BOL-22	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より3個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より2個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より 2個+2個=4個 3+2+2+4=11個	11	個
(7)	ボルトコンカバー	東京富士商会 BOL-C22	2(6)と同じ 11個	11	個
3	接地工事				
(1)	アース棒	東京富士商会 EATO-14-15	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1本 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2本 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1本 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より 1本+1本+1本×2か所=4本 1+2+1+4=8本	8	本
(2)	リード端子	東京富士商会 EATO-14R	図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1個 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2個 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1個 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より 1本+1本+1本×2か所=4個 1+2+1+4=8個	8	個
(3)	接地抵抗測定		図番4/8 電源①設置詳細図 資材表より1か所 図番5/8 電源②設置詳細図 資材表より2か所 図番6/8 電源③設置詳細図 資材表より1か所 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図 資材表より 1か所+1か所+2か所=4か所 1+2+1+4=8か所	8	か所

数量計算書

項	目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
4	電力設備工事				
(1)	配線用遮断器	パナニック BCWN330 3P30A	図番 4 / 8 電源①設置詳細図 資材表より 1 個	1	個
(2)	配線用遮断器	パナニック BCWA230 2P30A	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 1 個 図番 6 / 8 電源③設置詳細図 資材表より 1 個 図番 7 / 8 電源④ - 1 設置詳細図、図番 8 / 8 電源④ - 2 設置詳細図 資材表より 1 個 + 2 個 + 1 個 × 2 か所 = 5 個 1 + 1 + 5 = 7 個	7	個
(3)	配線用遮断器	パナニック BCWA240 2P40A	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 1 個	1	個
(4)	ポールスタンド(基礎ブロック)	ZM-1A 日東興業、(500*500*500)	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 1 式	1	式
(5)	外柵支持ボックス支持金物	日東工業 PMC-206	図番 7 / 8 電源④ - 1 設置詳細図、図番 8 / 8 電源④ - 2 設置詳細図 資材表より 1 個 × 2 か所 = 2 個	2	個
5	地中線路				
(1)	波型硬質合成樹脂管FEP	古河電工 FP-30	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 1. 3.5m + 1.2m + 4.5m + 1.2m + 1.0m = 49.75m 図番 7 / 8 電源④ - 1 設置詳細図、図番 8 / 8 電源④ - 2 設置詳細図 資材表より ① 1.35m + 1.2m + 6.0m + 1.2m + 1.35m = 65.1m ② 1.35m + 1.2m + 7.0m + 1.2m + 1.35m = 75.1m ① 65.1m + ② 75.1m = 140.2m 49.75 + 140.2 = 189.95m	190	m
(2)	ボックスコネクタ(クランプ)	古河電工 CL-30	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 1 個 図番 7 / 8 電源④ - 1 設置詳細図、図番 8 / 8 電源④ - 2 設置詳細図 資材表より 2 個 + 2 個 = 4 個 1 + 4 = 5 個	5	個
(3)	埋設標識シート(地中埋設)	古河電工 HVT-W	図番 5 / 8 電源②設置詳細図 資材表より 4.5m 図番 7 / 8 電源④ - 1 設置詳細図、図番 8 / 8 電源④ - 2 設置詳細図 資材表より 6.0m + 7.0m = 13.0m 4.5 + 13.0 = 17.5m	175	m

数量計算書

項 目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
6 土木工事				
(1) 掘削	バックホウ (クローラ型) 0.28m³	図番5/8 電源②設置詳細図より $W \times H \times L$ ① $0.88m \times 1.3m \times 45m = 51.48m^3$ ② $0.9m \times 1.2m \times 0.9m = 0.972m^3$ ① $51.48m^3 + ② 0.972m^3 = 52.452m^3$ 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図より $0.88m \times 1.3m \times (60m + 70m) = 148.72m^3$ $52.452 + 148.72 = 201.172m^3$	201	m³
(2) 埋戻し	バックホウ (クローラ型) 0.28m³	図番5/8 電源②設置詳細図より $W \times H \times L$ ① $0.88m \times 1.2m \times 45m = 47.52m^3$ ② $(0.9m - 0.5m) \times 0.5m \times (0.9m - 0.5m) = 0.08m^3$ ③ $0.9m \times 0.6m \times 0.9m = 0.486m^3$ ① $47.52m^3 + ② 0.08m^3 + ③ 0.486m^3 = 48.086m^3$ 図番7/8 電源④-1設置詳細図、図番8/8 電源④-2設置詳細図より $0.88m \times 1.2m \times (60m + 70m) = 137.28m^3$ $48.086 + 137.28 = 185.366m^3$	185	m³
(3) 土木機械運搬 (往復)	トラック11t積	図番5/8 電源②設置詳細図、図番7/8 電源④-1設置詳細図 図番8/8 電源④-1設置詳細図より 土木機械運搬 2日	2	日

数量計算書

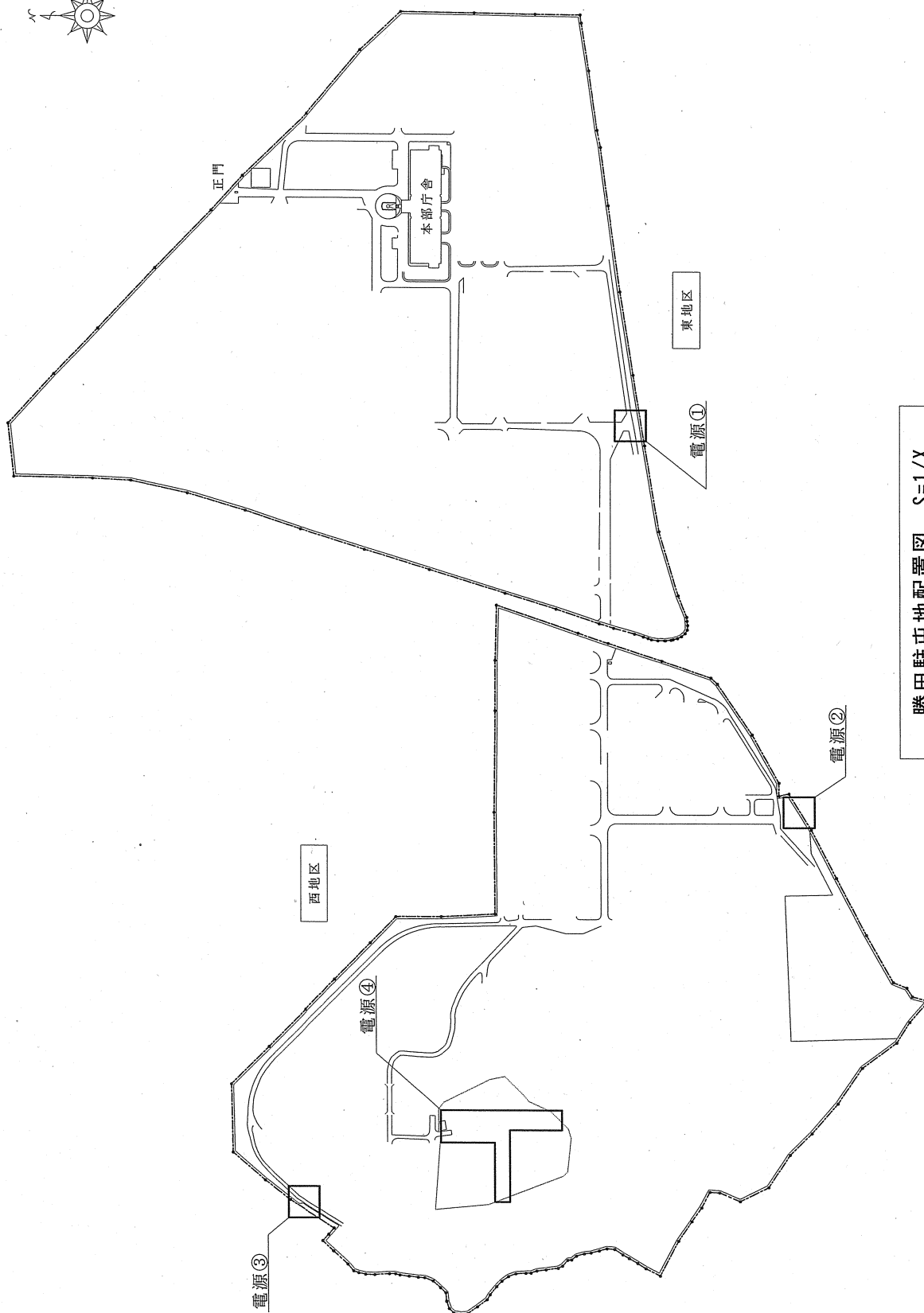
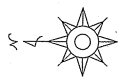
項	目	規 格	数 量 計 算	計算数量	単位
(4)	建設発生土処理	場内敷き均し	図番5／8 電源②設置詳細図より W × H × L ① 0.88m×0.1m×4.5m=3.96m ³ ② 0.5m×0.5m×0.5m=0.125m ³ ③ 3.96m ³ +②0.125m ³ =4.085m ³ 図番7／8 電源④－1設置詳細図、図番8／8 電源④－2設置詳細図より 0.88m×0.1m×(60m+70m)=11.44m ³ 4.085+11.44=15.525m ³	16	m ³
(5)	砂地業	クッション砂	図番5／8 電源②設置詳細図より W × H × L 0.88m×0.1m×4.5m=3.96m ³ 図番7／8 電源④－1設置詳細図、図番8／8 電源④－2設置詳細図より 0.88m×0.1m×(60m+70m)=11.44m ³ 3.96+11.44=15.4m ³	15	m ³
(6)	砂利地業	再生砕石(RC-40)	図番5／8 電源②設置詳細図より W × H × L 0.9m×0.1m×0.9m=0.081m ³	0.1	m ³

工 事 仕 様 書

- 1 件 名：警備システム電源設置工事
- 2 場 所：茨城県ひたちなか市勝倉3433 陸上自衛隊勝田駐屯地
- 3 概 要：屋外分電盤設置（8台）ほか 一式
- 4 工事種目：電気設備工事 一式
- 5 一般事項
- (1) 本工事は、本仕様書及び図面によるほか、次に挙げる標準仕様書及び監督官の指示により施工するものとし、特に記載、指示がなくとも技術的に当然なすべきことは請負業者の負担により、確実に実施する。
- ア 国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」
- イ 国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」
- (2) 図面に記載なき材料及び工法等は標準仕様書によるほか、使用する材料等のメーカー仕様による。
- (3) 図面の内容及現況に相違がある場合、図面に明記なき場合及び疑義が生じた場合は、監督官を通じて契約担当官と協議する。
- (4) 現場代理人及び主任技術者
現場代理人は、施工に関する諸法規及び諸規定に精通し、かつ、十分な経験を有する者とする。
国家資格等が必要とする施工の場合は、その資格を有するものとし、その資格の写しを監督官に1部提出するものとする。
- (5) 工程表
請負業者は、工程表を監督官に提出し承認を受けるものとする。工程表の変更を必要とする場合は、その都度監督官の承認を受けるものとする。
- (6) 材 料
- ア 仮設用資材及び特に示されたもの以外はすべて新品とする。
- イ 使用する材料は、監督官立会のもと検査を受け、合格したものを使用する。
- ウ 使用する主要な材料及び監督官の指定する材料は、見本・カタログ・承認図・施工図を提出し承認を受ける。
- (7) 現場管理
- ア 作業現場の管理は、関係法規及び部隊規定に従い遺漏なく行い、事故防止に万全の対策を講じ、常に注意を怠らないようにする。
- イ 本工事の施工に伴い、他の施設及び物品等に汚損または損傷を与えた場合は、請負業者の負担により直ちに現状復旧する。
- ウ 使用する電気及び水については、請負業者において持ち込みとする。
- (8) 写真
- ア 写真はカラーとし、写真帳に整理し、1部提出するものとする。
- イ 撮影要領
- (7) 各工程毎施工前、施工中（特に、外部から明視できなくなるおそれのある箇所は確実に撮影する）及び完成後、同一場所、同一方向から撮影する。
- (4) 作業看板（黒板等）には工程等を明瞭に記載する。
- (9) 資材搬入時、規格及び数量等が明確になる写真を写すものとする。

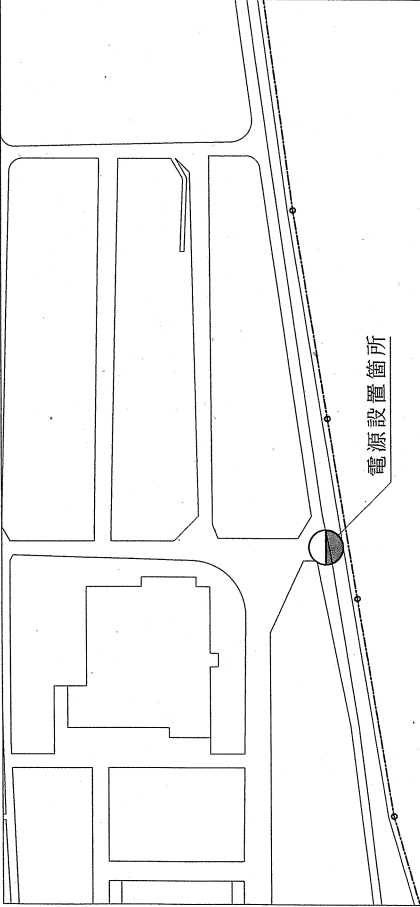
- (9) 関係書類等の管理
- ア 関係書類、パソコン及び記憶媒体の適切な管理を行い、情報流出の防止に万全を期する。
- イ 請負業者は、本仕様書を当該作業関係者以外に貸出し、複写及び回覧させてはならない。
- (10) 作業実施日及び作業時間
- ア 土日、祝日の作業は原則認めないものとする。
- イ 作業時間は原則、駐屯地の日課時限（08:15～17:00）に合わせて実施する。
- ウ 作業工程等の都合上、上記事項に不都合がある場合は、事前に監督官と協議のうえ、承認を得てから作業を実施する。
- (11) 発生材等の処理
- ア 金属類の発生材は発生材調書により監督官に引継ぐものとし、監督官の指定した場所に搬入する。それ以外の発生材については、監督官の指示に従う。
- イ 産業廃棄物等は選別を行い、リサイクル等再資源化に努める。
- ウ 産業廃棄物の処理については、請負業者の責任において各種関係法令に基づき適切に処分し、産業廃棄物管理票E票の写しのほか、その他監督官の指示するものを提出する。
- なお、処理を委託する場合、委託契約書の写しも含めて提出する。
- (12) 完成検査
- ア 請負業者は検査官による完成検査を受けるものとし、不合格の場合は請負業者の負担により是正した後、再検査を受けるものとする。
- イ 完成後、検査が不可能または困難な箇所は、その施工にあたり監督官の指示を受ける。
- 5 特記事項
- 電気設備工
- ア 本工事を進めるにあたり、活線作業等が発生する場合は官側と調整すること。
- イ 掘削作業で発生した余剰残土については、場内整地すること。
- ウ 本工事において作業する一部の地域について、事前の立入り調整を要する場所となるため、細部、監督官の指示に従い工程等の調整を行うこと。
- エ 接地工事については接地極埋設後、接地測定を行い電気設備技術基準に準じた施工となっているかを確認すること。

工事件名	警備システム電源設置工事		図 番	2 / 8
図 面 名	一般仕様書		縮 尺	図 示
陸上自衛隊勝田駐屯地 施設学校総務部管理課			作成年月日	令和7年6月30日

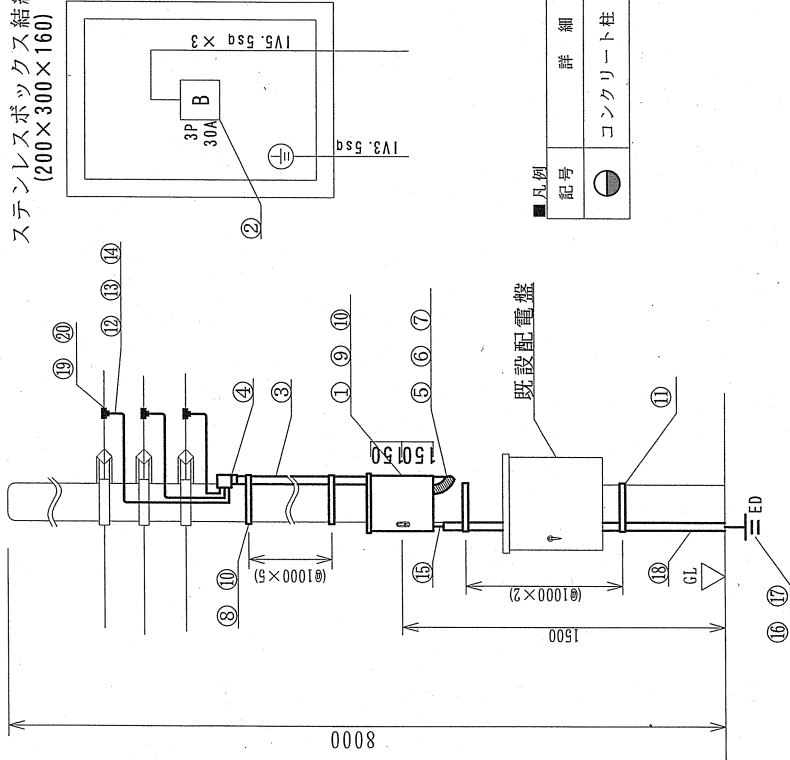


勝田駐屯地配置図 S=1/X

工事名	警備システム電源設置工事	縮尺	図面番号
図面名	電源設置箇所詳細図	図示	3 / 8
令和7年6月30日			



ステンレスボックス結線図
(200×300×160)



凡例	記号	詳細
●	記号	コンクリート柱

電源①

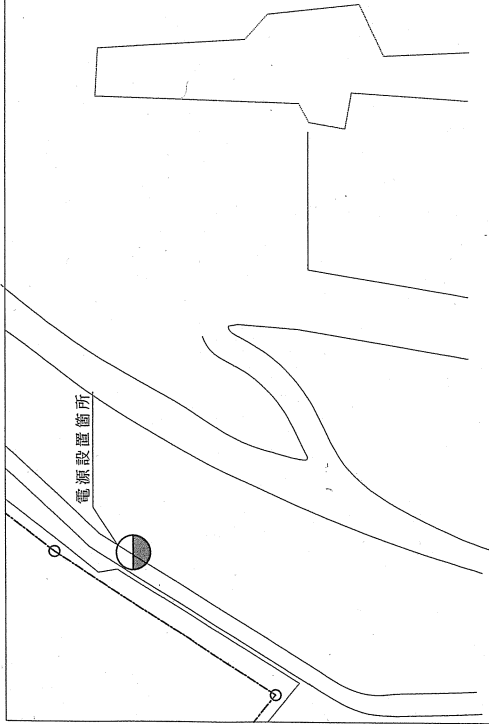
■ 資材表

記号	名 称	参考型式/メーカー	数 量	備 考
①	ステンレスボックス	S016-23A/日東工業	1個	
②	配線用遮断器	BCWN330/パナソニック	1個	
③	厚銅電線管φ28	DWZ228K/パナソニック	6m	柱上エントランスキヤップからボックス上面までの長さ(余長含む)
④	エントランスキヤップ	DFZ1928P/パナソニック	1個	厚銅電線管からボックス内までの長さ(余長含む)
⑤	ビニル被覆金属製可とう電線管ねじなし防水コンピネーションカップリング	DA230KH/パナソニック	1m	
⑥	DFZ5528/パナソニック	DFZ5528/パナソニック	1個	
⑦	EGカムコネクタ	DA430K/パナソニック	1個	
⑧	電線管支持用サドル	US-30/イワブチ	5個	
⑨	高圧計器箱取付金具	BXG/イワブチ	1個	
⑩	自在バンド	IBT-215/イワブチ	5本	
⑪	ステンレスバンド	SFT-C215/イワブチ	2本	
⑫	600Vビニル絶縁電線IV(赤)	IV5.5sq	8m	分岐箇所からボックス内までの長さ(余長含む)
⑬	600Vビニル絶縁電線IV(白)	IV5.5sq	8m	分岐箇所からボックス内までの長さ(余長含む)
⑭	600Vビニル絶縁電線IV(黒)	IV5.5sq	8m	分岐箇所からボックス内までの長さ(余長含む)
⑮	600Vビニル絶縁電線IV(緑)	IV3.5sq	2m	ボックス内からアース棒までの長さ(余長含む)
⑯	アース棒	EAT0-14-15/東京富士商会	1本	
⑰	リード端子	EAT0-14R/東京富士商会	1個	
⑱	硬質ビニル電線管(VE)	VE14	2m	ボックス下面からアース棒までの長さ(余長含む)
⑲	ボルトコネクタ	B0L-22/東京富士商会	3個	
⑳	ボルトコンカパー	B0L-C22/東京富士商会	3個	

仕様

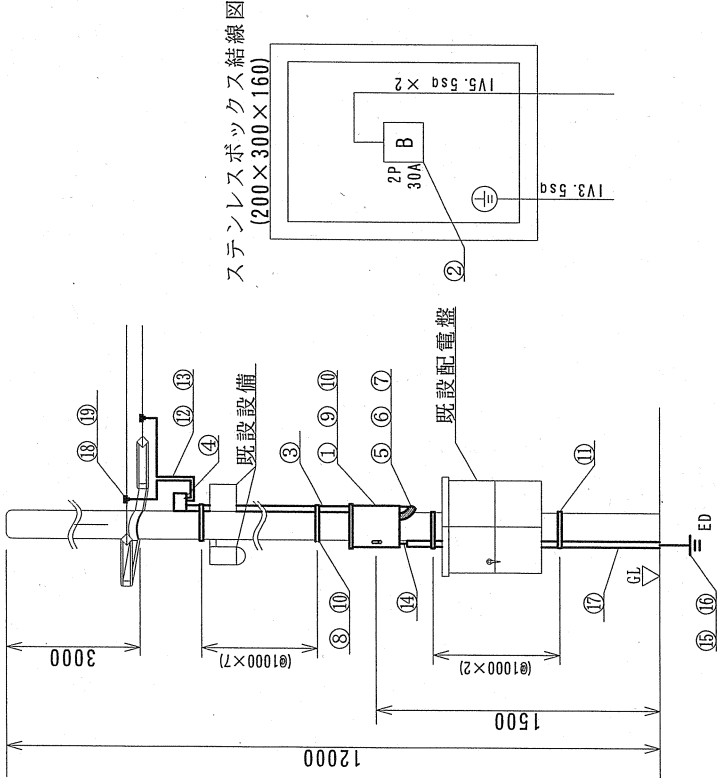
- 資材表に記載された品目はあくまで参考であり、使用する資材は表に記載された品目と同等、または同等以上の資材を選定すること。
- 接地工事は銅覆鋼棒による単独打ち込みとするが、状況に応じ監督官との協議の上、施工方法の変更も可とする。
- ステンレスボックスの設置高さについてはGL+1500を基準とし、細部は現場合わせとする。

工事名	警備システム電源設置工事	縮 尺	図 示	図面番号
図面名	電源①設置詳細図			4 / 8
				令和7年6月30日



凡例	記号	詳細
		コンクリート柱

■ 資材表	記号	名称	参考型式/メーカー	数量	備 考
①	ステンレスボックス		S016-23A/日東工業	1個	
②	配線用遮断器		BCWA230/パナソニック	1個	
③	厚銅電線管G28		DWZ228K/パナソニック	8m	柱上エントランスキヤップからボックス上面までの長さ(余長含む)
④	エントランスキヤップ		DFZ1928P/パナソニック	1個	
⑤	ビニル被覆金属製可とう電線管		DA230KH/パナソニック	1m	厚銅電線管からボックス内までの長さ(余長含む)
⑥	ねじなし防水コンピネーションカップリング		DFZ5528/パナソニック	1個	
⑦	EGカムコネクタ		DA430K/パナソニック	1個	
⑧	電線管支持用サドル		US-30/イワブチ	7個	
⑨	高圧計器箱取付金具		BXG/イワブチ	1個	
⑩	自在バンド		IBT-215/イワブチ	7本	
⑪	ステンレスバンド		SFT-C215/イワブチ	2本	
⑫	600Vビニル絶縁電線 IV (白)		IV5.5sq	12m	分岐箇所からボックス内までの長さ(余長含む)
⑬	600Vビニル絶縁電線 IV (黒)		IV5.5sq	12m	分岐箇所からボックス内までの長さ(余長含む)
⑭	600Vビニル絶縁電線 IV (緑)		IV3.5sq	2m	ボックス内からアース棒までの長さ(余長含む)
⑮	アース棒		EAT0-14-15/東京富士商会	1本	
⑯	リード端子		EAT0-14R/東京富士商会	1個	
⑰	硬質ビニル電線管 (VE)		VE14	2m	ボックス下面からアース棒までの長さ(余長含む)
⑱	ボルトコネクタ		B0L-22/東京富士商会	2個	
⑲	ボルトコンカバー		B0L-C22/東京富士商会	2個	



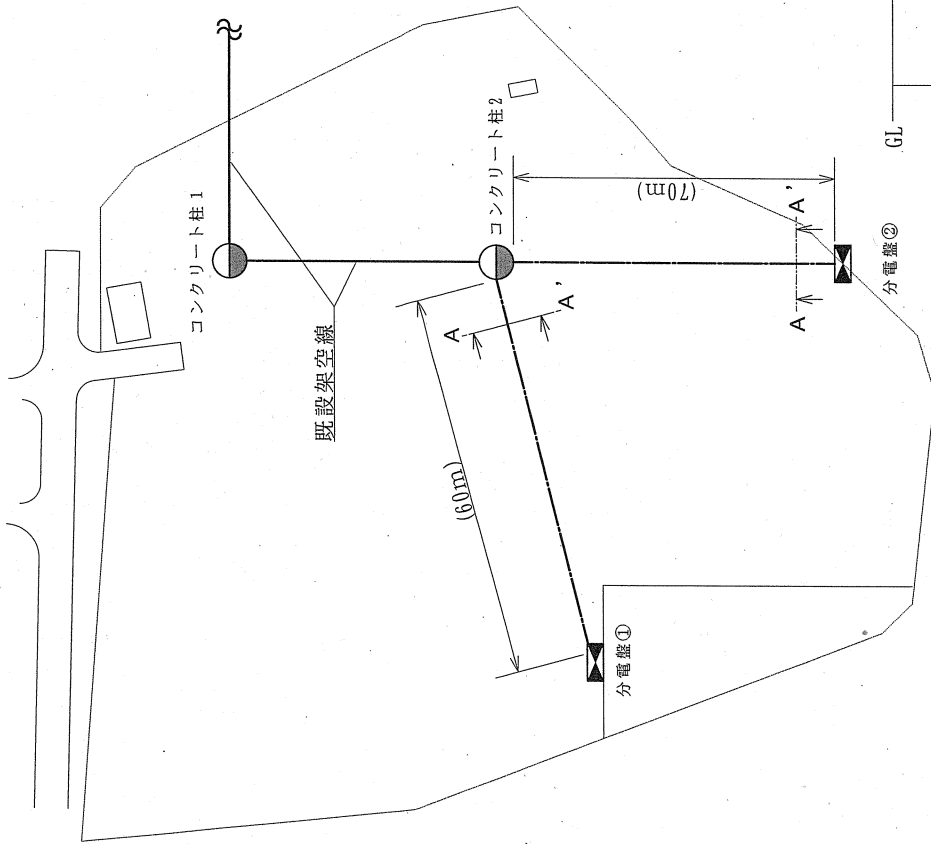
ステンレスボックス結線図
(200×300×160)

仕様

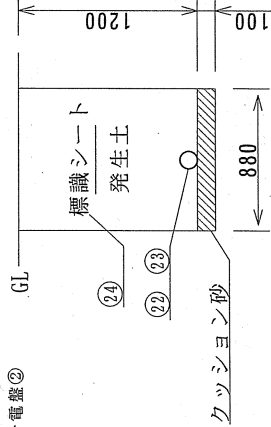
1. 資材表に記載された品目はあくまで参考であり、使用する資材は表に記載された品目と同等、または同等以上の資材を選定すること。
2. 接地工事は銅覆鋼棒による単独打ち込みとするが、状況に応じ監督官との協議の上、施工方法の変更も可とする。
3. ステンレスボックスの設置高さについてはGL+1500を基準とし、細部は現場合わせとする。

電源③

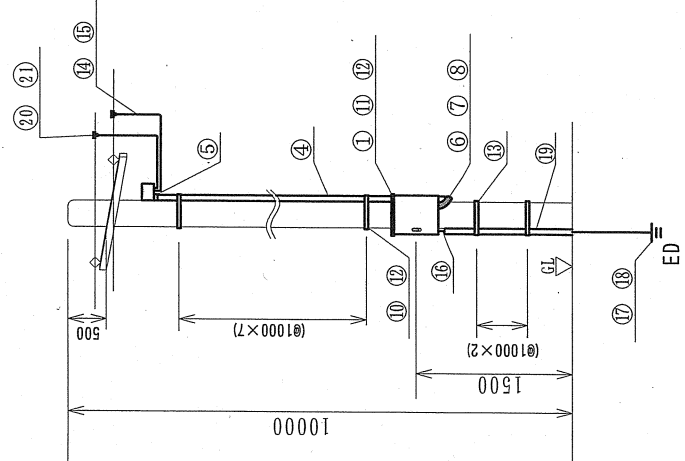
工事名	警備システム電源設置工事	縮 尺	図 示	図面番号
図面名	電源③設置詳細図			6 / 8
				令和7年6月30日



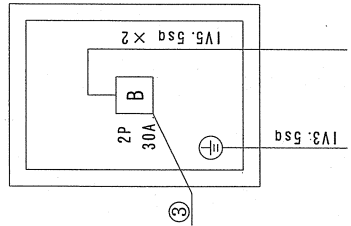
■凡例	
記号	詳細
---	埋設配管(直接埋設)
---	架設架空線(既設)
⬮	分電盤
●	コンクリート柱



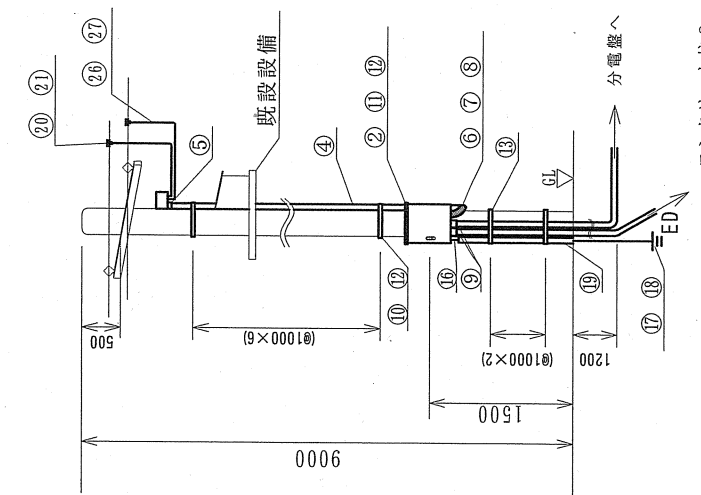
A-A' 掘削断面図



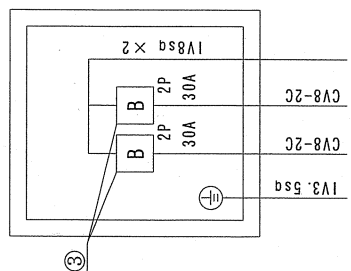
ステンレスボックス
結線図
(200×300×160)



コンクリート柱 1
※架空線から電源引込



ステンレスボックス
結線図
(300×400×160)



コンクリート柱 2
※架空線から電源引込

仕様
1. 接地工事は銅覆鋼棒による単独打ち込みとするが、状況に応じ監督官との協議の上、施工方法の変更も可とする。
2. ステンレスボックスの設置高さについてはGL+1500を基準とし、細部は現場合わせとする。

工事名	警備システム電源設置工事	縮尺	図面番号
図面名	電源④-1 設置詳細図	図示	7/8
令和7年6月30日			

入 札 書

金額¥ (税抜)

品 名	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
警備システム電源設置工事	工事費内訳明細書のとおり	式	1		
	以下余白				
履 行 場 所	陸上自衛隊勝田駐屯地			履 行 期 限	令和7年12月26日
入札(契約)保証金	免除	入札(見積)書有効期間			

上記の公告又は通知に対して、「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約
条項等を承諾のうえ入札見積いたします。

また、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は「入札及び契約心得」に
示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和 年 月 日

契約担当官 陸上自衛隊勝田駐屯地 殿
会計課長 村川 穰二

住 所

会社名

代表者名

担当者名

連絡先

市場価格調査

No.	品 名	規 格	数量	単位	単 価	金 額
	電気設備工事					
1	配管工事	物品価格				
(1)	ステンレスボックス	日東興業 S016-23A又は同等品以上	7	個		
(2)	ステンレスボックス	日東興業 S016-34A又は同等品以上	1	個		
(3)	高圧計器箱取付金具	イワチ BXC又は同等品以上	5	個		
(4)	自在バンド	イワチ IBT-215又は同等品以上	32	本		
(5)	ステンレスバンド	イワチ SFT-C215又は同等品以上	12	本		
(6)	厚鋼電線管G28	パナソニック DWZ228K又は同等品以上	37	m		
(7)	エントランスキャップ	パナソニック DFZ1928P又は同等品以上	5	個		
(8)	ビニル被覆金属製可とう電線管	パナソニック DA230KH又は同等品以上	5	m		
(9)	ねじなし防水コンビネーション カップリング	パナソニック DFZ5528又は同等品以上	5	個		
(10)	EGカムコネクタ	パナソニック DA430K又は同等品以上	5	個		
(11)	電線管支持用サドル	イワチ US-30又は同等品以上	32	個		
2	配線工事	物品価格				
(1)	600Vビニル絶縁電線IV	IV3. 5sq又は同等品以上	16	m		
(2)	600Vビニル絶縁電線IV	IV5. 5sq又は同等品以上	68	m		
(3)	600Vビニル絶縁電線IV	IV8sq又は同等品以上	38	m		
(4)	600V架橋ポリエチレン絶縁ビ ニルシースケーブル	CV8-2C又は同等品以上	192	m		
(5)	硬質ビニル電線管VE	VE14又は同等品以上	14	m		
(6)	ボルトコネクタ	東京富士商会 BOL-22又は同等品以上	11	個		
(7)	ボルコンカバー	東京富士商会 BOL-C22又は同等品以上	11	個		

3	設置工事					
(1)	アース棒	東京富士商会 EAT0-14-15又は同等品以上	8	本		
(2)	リード端子	東京富士商会 EAT0-14R又は同等品以上	8	個		
(3)	接地抵抗測定	仕様書のとおり	8	箇所		
4	電気設備工事	物品価格				
(1)	配線用遮断器	パナソニック BCWN330 3P30A又は同等品以上	1	個		
(2)	配線用遮断器	パナソニック BCWA230 2P30A又は同等品以上	7	個		
(3)	配線用遮断器	パナソニック BCWA240 2P40A又は同等品以上	1	個		
(4)	ポールスタンド (基礎ブロック)	ZM-1A 日東興業、(500×500×500) 又は同等品以上	1	式		
(5)	外柵支持ボックス支持金物	日東工業 PMC-206又は同等品以上	2	個		
5	地中線路	物品価格				
(1)	波型硬質合成樹脂管FEP	古河電工 FP-30又は同等品以上	190	m		
(2)	ボックスコネクタ (クランプ)	古河電工 CL-30又は同等品以上	5	個		
(3)	埋設標識シート (地中埋設)	古河電工 HYT-W又は同等品以上	175	m		
6	土木工事					
(1)	掘削	バックホウ (クローラ型) 0.28m ³	201	m ³		
(2)	埋戻し	バックホウ (クローラ型) 0.28m ³	185	m ³		
(3)	土木機械運搬 (往復)	トラック11t積	2	日		
(4)	建設発生土処理	場内敷き均し	16	m ³		
(5)	砂地業	クッション砂	15	m ³		
(6)	砂利地業	再生砕石 (RC-40)	0.1	m ³		
7	産業廃棄物処分		1	式		
8	諸経費	諸経費の内訳に関しては行を追加して記載してください。				
合 計 (税 抜)						

※物品については流通価格の記載をお願いいたします。

提 出 期 限 : 令和7年8月5日 (火) 17時00分

提 出 先 : 陸上自衛隊施設学校総務部会計課契約班

直通FAX : 029-271-3130

電子メール : fin-esh@inet.gsdf.mod.go.jp

住 所
会 社 名
代表者名
担 当 者
連 絡 先